

2021年5月27日
株式会社日本政策金融公庫
仙 台 支 店

J-Startup TOHOKU認定企業 日本積層造形株式会社に

新型コロナ対策資本性劣後ローンを実施

～七十七銀行との連携により、コロナ禍の事業者を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）仙台支店中小企業事業は、日本積層造形株式会社（本社：宮城県多賀城市、社長：日下 良太 氏）に対し、七十七銀行多賀城支店と協調融資を行い、新型コロナ対策資本性劣後ローン（制度名：「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付」）200百万円の融資を実施しました。

新型コロナ対策資本性劣後ローンは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている経済環境下にあって、関係機関の支援を受けて事業の発展・継続を図る中小企業・小規模事業者の財務体質強化のために資本性資金を供給することを通じて、資金調達を円滑化することを目的とした制度で、令和2年8月から制度の取扱いを開始しました。

日本積層造形株式会社は、金属部品の3Dプリンター造形を手掛けるベンチャー企業です。航空宇宙エンジン部品や医療用インプラント、自動車関連など、様々な分野を対象として、①金属粉の素材開発・製造～3Dプリンター造形・量産対応までの一気通貫のサービスが可能である点（日本初）、②粉末製造・造形・検査・分析装置など幅広い装置ラインナップを有していること、個別製品ごとの最適なレシピ（造形条件、粉末条件、設計レイアウト等）を有していることなどから顧客の多様なニーズに対応可能な点、③電子ビーム方式を用いた造形技術やプラズマ回転電極法を用いた金属粉末材料製造技術等の技術は斯業界トップレベルである点などにおいて競争優位性を有しています。J-Startup TOHOKU（※）にも選定され、製造業におけるデジタルトランスフォーメーションによる超スマート社会の実現を担う重要な技術として期待される金属3D プリンター技術の利活用の拡大により、今後の一層の飛躍が期待されています。

日本公庫は、引き続き七十七銀行との連携を促進し、コロナ禍に立ち向かう地域の中小企業・小規模事業者の事業の発展・継続を積極的に支援してまいります。

（※）世界で戦い、勝てるスタートアップ企業を生み出すこと等を目的とした「J-Startup プログラム」の地域展開の一環として、仙台市及び東北経済産業局が中心となり立ち上げたもの。

<融資先の概要>

企 業 名	日本積層造形株式会社	代 表 者	日下 良太
住 所	宮城県多賀城市八幡一本柳 3-8	業 種	金属素形材製品製造業
「日本積層造形株式会社」へのお問い合わせ TEL022-290-0527（担当：田中）			

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 仙台支店 中小企業事業 TEL：022-223-8144（担当：大友）
住所：宮城県仙台市青葉区中央 1-6-35 東京建物仙台ビル 10 階